

# 森林を活用した地域づくり（案）

◎地域の個性と特性を生かした森林資源の活用による地域づくりや交流促進の取り組み方向

テーマ	ふれあう	ながめる
主に重視すべき機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林レクリエーション等</li> <li>○森林セラピー</li> <li>○森林環境学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な森林景観の保全・形成</li> <li>○森林の持つ生物多様性の発揮</li> </ul>
活用方向	<p>○遊歩道を使ったウォーキングや登山、散策等のレクリエーション</p> <p>○セラピーロードやセラピー基地</p> <p>○バードウォッチングや自然観察等の森林環境学習</p> <div style="text-align: center;"> <p>立ち入り利用</p>  </div>	<p>○森林景観の向上によるまちづくり及び観光振興並びに交流促進（眺望の良い場所に休憩所やレストラン、直売所を設置）</p> <div style="text-align: center;"> <p>景観の活用</p>  </div>
選定条件	<p>○『歩くルートの条件』＝適した散策コースの条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散策ルートに森林（樹木）「歩きながら見る要素（樹木や林相等の近景）」のほか「立ち止まってみる要素（景色の変化を楽しめる川、滝、岩、花等）」を組み込む＝『点を線につなげる』</li> <li>①既存の魅力的な箇所 ⇒ 林内整備等による魅力の向上</li> <li>②今まで見落とされていた魅力的な箇所 ⇒ 新たなルートの立ち上げ</li> </ul> <p>○『ルート周辺の条件』＝適した森林の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴的な樹種・植生がある</li> <li>・景色の変化を楽しめる要素がある</li> <li>・季節の変化がある</li> <li>・林内の見通しが良好である</li> <li>・歩きやすい散策路がある、作ることができる</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>整備のイメージ</p>  <p>具体例</p>  </div>	<p>○『眺める対象の条件』＝適した森林の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩で豊か（多様な樹種・植生）</li> <li>・季節感がある（変化がある）</li> <li>・面的な広がりがある（壮大）</li> <li>・歴史・文化などの地域らしさがある</li> <li>・周囲の景観と調和</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>整備のイメージ</p>  <p>眺める場所の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しが良い（ある程度視界が確保できており、伐採しなければならない樹木等が少ない）</li> <li>・利用環境がよい（①案内板や休憩施設、駐車スペースなどの整備）（②ごみの除去、邪魔な樹木やヤブの除去等の定期的な維持管理）</li> </ul> <p>具体例</p>  </div>
整備の方向	<p>散策路等…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○林内歩道や休憩施設等の整備</li> <li>○案内板や標識の設置</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <p>森林部分…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広葉樹種の植栽（花や実、紅葉等が美しい複数の在来樹種の導入等）</li> <li>○ササや灌木、枯損木等の除去 他</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>眺める場…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○駐車場、休憩施設等の整備</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <p>森林部分…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○里山林の整備（ササや侵入竹等の除去、高齢落葉樹伐採による萌芽更新）</li> <li>○広葉樹種の植栽（四季を彩る樹木や、実が野生動物の餌となる複数の在来樹種導入） 他</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>
目標	<p>○県内で「なら森林ふれあいルート」10箇所程度整備</p>	<p>○県内で「なら彩りの森林景観」10箇所程度整備</p>

## 「森林づくりの方向(案)」

〔(仮称)奈良県森林づくり並びに林業及び木材産業振興条例〕及び「同指針」に基づく

### 森林づくりの方向

○重視すべき機能に応じた森林区分の設定



木材生産林



環境保全林

○森林の植生状態や立地条件、利用実績などに基づき、重視すべき機能として、「主に木材生産機能を発揮すべき森林」と「主に環境保全機能を発揮すべき森林」の2つに区分し、それぞれの目的に応じた森林づくりを推進

### 森林の区分及び利用イメージ

森林区分	木材生産林	環境保全林			
		立入利用型	混交林型	広葉樹型	現存植生型
主に重視すべき機能	○木材生産機能	○森林レクリエーション、森林セラピー、自然観察等森林環境学習などの機能	○地域の自然条件等に適合する安定した森林植生の回復(人工林⇒混交林)	○良好な森林景観の保全や生物多様性の発揮	○原生林や天然記念物の森林など、貴重な自然植生の保護・保存
主な利用方向	○木材利用を目的とした循環利用(伐採～植栽～保育の繰り返し)	○レクリエーション等を目的とした立入利用	○森林管理や特用林産物の育成・採取等	○森林景観の活用や野生生物との共生	○原則として人的関与せず、立入等も制限
森林のイメージ	 手入れされた人工林	 落葉広葉樹林(里山林)と林内歩道	 針葉樹と広葉樹の混生林(針広混交林)	 クスギ、コナラ等の落葉広葉樹林	 ブナ等の原生林  シイ、カシ等の常緑広葉樹林

『ふれあい』利用

『ながめる』活用